

2025年3月31日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長 織田 寛明
芙蓉オートリース株式会社
代表取締役社長 長野 克宣

電動フォークリフト用鉛蓄電池の再生サービス『MOTTA』の 事業譲受およびサービス提供の開始について

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）の連結子会社である芙蓉オートリース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 長野克宣）は、イーストン株式会社（埼玉県春日部市、代表取締役社長 熊田学）より鉛蓄電池の再生事業「MOTTA（モッタ）※1」を譲り受け、2025年4月1日より営業開始することをお知らせいたします。

芙蓉リースグループは2022年8月より「MOTTA」の再生バッテリー技術を活用した電動フォークリフトのパッケージサービス「GREEN FORK※2」を提供しています。今回の事業譲受により、物流事業者等向けのフォークリフト関連サービスの拡充と体制強化によるお客様の利便性向上に取り組んでまいります。

※1 「MOTTA」について

劣化によりパフォーマンスが低下した鉛蓄電池の機能を復元し、再利用（reuse）できる状態にするサービス。従来廃棄していた使用済みバッテリーを再資源化（recycle）することで、有害廃棄物の削減（reduce）や新品の生産時に生じるCO₂削減にも貢献します。



※2 「GREEN FORK」について

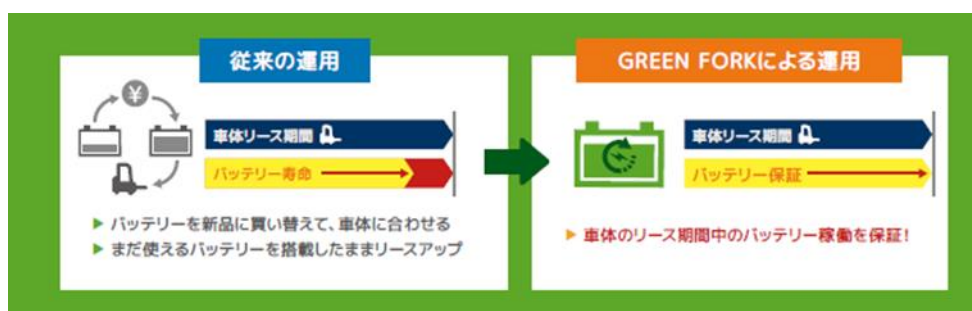
GREEN FORK

MOTTA 技術を用いて機能回復した再生バッテリーを活用し、運用コストと CO₂ 排出量を大幅に削減するバッテリー保証付きの電動フォークリフト新車リースパッケージです。

車体リース期間と新品バッテリー寿命の間に生じるギャップに再生バッテリーを活用することで、フォークリフトの安定稼働を実現します。また、新品バッテリーを購入する場合と比較して最大 40%の“コスト削減”を実現するとともに、予めバッテリーの交換コストをリース料に組み込んだリースパッケージとすることにより、コストの平準化も可能となります。

環境面においても、再生バッテリーの活用で使用済みバッテリーの廃棄時に発生する“有害廃棄物”の削減につながるとともに、新品バッテリー製造時に発生する CO₂ の排出を削減することが可能です。

フォークリフト運用面の比較



芙蓉リースグループは 2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。

また、「モビリティ物流」を経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに位置付け、様々な技術の社会実装を通じ、脱炭素社会の実現や循環経済の実現など社会課題の解決に貢献する企業グループを目指しています。本件に留まらず、お客様の課題解決に貢献するソリューションプロバイダーとして事業領域を拡大してまいります。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎

電話番号 03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>